

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年2月14日

1. 退院患者（重症患者）におけるロングコロナ症状とワクチン接種の関連
2. 新型コロナワクチンはロングコロナリスクを低下させる：システムティックレビューとメタアナリシス

【松崎雑感】

新型コロナワクチンを接種していると、たとえコロナに感染しても、コロナ後遺症（ロングコロナ）リスクがほぼ半減するという報告です。重症化した場合でも、コロナサバイバーのロングコロナリスクが減っていました。ただし、ロングコロナとなった場合に、新型コロナワクチンを接種しても「それほど」ロングコロナが軽くなる見通しはないようです。再感染防止という意味で接種することは肯定されると思いますが…。

退院患者（重症患者）におけるロングコロナ症状とワクチン接種の関連

Nascimento TCDC, do Valle Costa L, Ruiz AD, et al. **Vaccination status and long COVID symptoms in patients discharged from hospital.** *Sci Rep.* 2023;13(1):2481. Published 2023 Feb 11. doi:10.1038/s41598-023-28839-y

軽症の外来患者では、ワクチン接種がロングコロナリスクを低下させることわかっているが、感染により入院した人々（＝重症化した人々）が退院後にロングコロナを発症した場合、ワクチン接種歴がロングコロナリスクに影響するかどうか分かっていない。

ブラジルの2病院に入院した412名（年齢 60 ± 16 才、65%が女性）について、感染前にワクチン接種を2回接種していた人々185名と、未接種あるいは1回接種だけの人々227名のロングコロナリスクを比較した。

後者は前者よりも若く、基礎疾患が少なかった。

未接種あるいは1回接種だけの人々は、2回接種の人々よりもICU治療リスクが有意に多く、ステロイドホルモン投与の必要性が高く、肺塞栓、深部静脈血栓症が多かった。

退院から90日後に、未接種あるいは1回接種だけの人々は、2回接種の人々よりも後遺症状を持つ者が有意に多かった（40%対27%、 $p = 0.013$ ）。

交絡因子調整後、退院から90日後に、1種類以上の後遺症状を訴える者は、ワクチン未接種あるいは1回接種だけ群（オッズ比1.819; 1.175-2.815）、女性（2.435; 1.575-3.764）、ICU治療歴（1.697; 1.062-2.712）の人々で有意に多かった。

重症化した人々においても、ワクチン接種済ならば、ロングコロナ症状が軽減されることが明らかとなった。

新型コロナワクチンはロングコロナリスクを低下させる：

システマティックレビューとメタアナリシス

Watanabe A, Iwagami M, Yasuhara J, Takagi H, Kuno T.

Protective effect of COVID-19 vaccination against long COVID syndrome: A systematic review and meta-analysis [published online ahead of print, 2023 Feb 8]. *Vaccine*. 2023;S0264-410X(23)00134-2. doi:10.1016/j.vaccine.2023.02.008

背景

新型コロナワクチン接種とロングコロナリスクの関連は十分明らかにされていない。システマティックレビューとメタアナリシスによりこの問題を検討した。

方法

2022年9月までに発表された論文の検索を行った。

結果

観察研究6件（ワクチン未接種感染者536,291名、感染前ワクチン接種者84,603名、平均年齢41.2～66.6才、女性9.0～67.3%）。観察研究6件（ロングコロナ発症後ワクチン接種者8199名、平均年齢40.9～53.5才、女性22.2～85.9%）を対象として解析した。

ワクチン未接種者と比べて、2回接種者（オッズ比0.64; 95%信頼区間 0.45-0.92）、1回接種者（0.60, 0.43-0.83）のロングコロナリスクは有意に低下していた。

2回接種者は未接種者よりも、持続する倦怠感（0.62;0.41-0.93）、呼吸器症状（0.50; 0.47-0.52）が有意に低下していた。

ロングコロナ症状がワクチン接種の2週後から6か月後までの追跡で改善した者は20.3%（8.1～42.4%）、改善しなかった者は54.4%（34.3～73.1%）だった。

結論

新型コロナ感染前にワクチンを接種した人々は、ロングコロナリスクが有意に低下していた。しかし、ロングコロナが継続している場合にワクチンを接種しても、多くの場合症状は改善しなかった。